

【教科等名】 職業科

【単元名】 「ピンチをチャンスに変えよう」

【単元目標】

- (1) 職業生活で起こり得るピンチに対して、適切な行動の仕方を理解することができる。
[知識及び技能]
- (2) 他者との意見交換を通して、よりよい解決の仕方を考えることができる。
[思考・判断・表現等]
- (3) 卒業後の進路と結び付けて考え、自分自身のよりよい姿を考えようとしている。
[学びに向かう力・人間性等]

【対象生徒の個別目標】

- (1) ピンチ（不安）を乗り越えるための方法の中から、自分に合う方法を選択することができる。
「知識及び技能」
- (2) ピンチ（不安）を乗り越えるための方法について、自ら考えたことを伝えることができる。
「思考力・判断力・表現力等」
- (3) 事例を自分に置き換えて考え、よりよく働くために工夫しようとしている。
「学びに向かう力・人間性等」

《 事後検討会から —3 観点ごとの評価と今後の課題— 》

前時に習得した「リフレーミング」の概念を活かし、事例に対してどのように視点を変えれば気持ちをポジティブに切り替えられるのかについて、グループワークを行いました。

本時は、初めに自分の意見をワークシートに書くことで思考を整理しようとする姿が見られました。前時の知識・技能を生かして事例への対応策を考えられたこと、また、グループワークの中で自分の意見を伝えられたことから、「思考力・判断力・表現力等」における目標は達成したと評価しました。

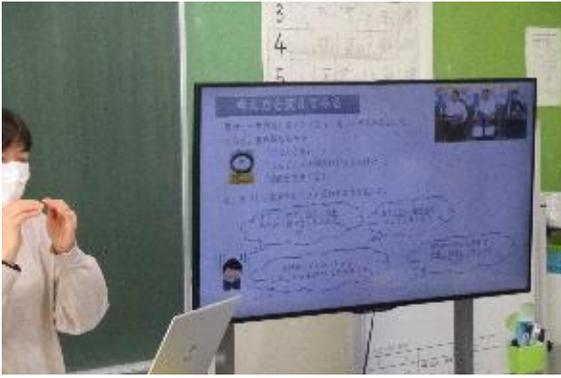
また、自分が考えた方法のほかに、友達の見解にも関心をもって聞く姿が見られました。すべての意見の中から、今の自分に合う方法を選ぶことができ、「知識及び技能」における目標は達成したと評価しました。

授業の中で生徒は、ピンチ（不安）を感じた場面でどのような行動を起こしたら良いのか、どのように考えたら気持ちをポジティブに切り替えられるのかをまずは自分一人で考え、意見をまとめていました。その後、グループの話し合いの中で自ら考えたことを友達に伝える姿が見られました。これらの姿から、[思考力・判断力・表現力等]における目標は達成したと評価しました。

また、その話し合いの中でグループの友達の見解を聞いて頷く姿や、他グループの見解を聞いてその意見に賛同していることをワークシートに記入する姿が見られました。これらの姿から、自分に合う方法を選択することができていると判断し、[知識及び技能]における目標は達成したと評価しました。

授業の終わりには感想として、今後行われる現場実習をイメージしながら前向きに頑張ろうとする意思をワークシートに記入することができました。これらの姿から [学びに向かう力・人間性等]における目標の「事例を自分に置き換えて考える」という点に関しては達成したと評価しました。しかし、目標で設定している「工夫している」という点に関しては、まだ今回の授業の中では評価しきれないのではないかという意見も出ました。

今回の授業の中で学んだことを実際の学校生活や現場実習の場面などで活用していくことが課題です。今後、積み重ねた学習が生かされているかを確認しながら、生徒の学びを深めていきたいと考えています。



・リフレーミングの概念を用いて



・グループワーク場面



・場面設定を演技で説明